

日本死の臨床研究会誌投稿規定

1. 論文の募集と採否

- 1) 本誌は死の臨床に関する論文を、原著を中心に募集しております。オリジナリティーが高く、他誌へ投稿・発表されていない論文をお寄せ下さい。
貴重なテーマであっても、原著や調査報告として掲載できない投稿論文に対して活動報告として掲載することが可能です。その場合、「死を見つめる」「死を考える」など地域での活動として内容を修正のうえ、再投稿をお願いいたします。原著・調査報告を活動報告に変更する場合は規定『2. 執筆要項』の1) 参照) に沿って書き直す必要があります。
- 2) 論文の著者は当研究会会員に限ります。
- 3) 投稿に際しては、学術論文として必要な倫理上の配慮及び個人情報の保護がなされているようにしてください。論文作成に必要な倫理指針及び個人情報保護の詳細は、当研究会ホームページに掲載されている倫理規定で確認してください。
- 4) 論文の採否は編集委員会が決定いたします。審査の結果、編集方針にしたがって原稿の加筆、削除、修正をお願いすることがあります。また、編集委員会の責任において多少字句の訂正をすることがありますのであらかじめご了承下さい。不採用の論文は返送いたします。
- 5) 論文の締切は12月15日(必着)です。

2. 執筆要項

- 1) 原稿の字数は、原稿用紙20枚(400字詰めとして)以内(本誌仕上がり6ページ以内)にまとめて下さい。図表は1点を原稿用紙1枚と換算して下さい。
活動報告の字数は原稿用紙4枚(400字詰めとして)、写真の掲載も可(写真は2から3点ーキャプションを付ける)
- 2) 原稿の第1頁に日本語表記による表題、著者名、会員番号、所属機関名、著者連絡先(郵便番号、住所、電話番号)、キーワード(5語以内)を、第2頁に英語表記による表題、著者名(姓名の頭文字のみ大文字)、所属機関名、英文抄録、キーワードの英訳を記載して下さい(「正本」)。英文抄録は100~200語とします。
- 3) 形式は緒言、方法、結果、考察、結語、引用文献の順序にしてください。
- 4) 原稿はワードプロセッサを使用し、フォントサイズ10.5ポイントでご作成ください。上記2)の「正本」1部と、お名前・所属機関・謝辞をはじめ論文全体をご確認いただき、投稿者の特定につながる記述を削除した「副本」2部をそれぞれプリントアウトしたものと、CD-RまたはUSBメモリを同封して下さい。
- 5) 原稿は横書き、専門用語以外は当用漢字、現代かなづかいを用いて下さい。改行の際は冒頭1字分を空けて書いて下さい。
- 6) 日本語化した外国語はカタカナで、外国人名、化学品名(薬品名は一般名)などの科学用語は原語を用い、大文字は固有名詞・ドイツ語名詞の頭文字に限ります。
- 7) 度量衡単位はmm、cm、mL、%、℃などの記号を用い、数字はアラビア文字で書いて下さい。また、数字、欧文はすべて半角で入力して下さい。
- 8) 図表はキャプションを付けたうえで1枚ずつ別に作成し、挿入箇所を本文中に明記して下さい。
- 9) 本文原稿にはページ番号を入れて下さい。
- 10) 原稿はオリジナル原稿1部(本文・図表)と、副本原稿2部を書留便やレターパックなどの記録が残る形で郵送して下さい。
- 11) 連絡先は住所のほか、連絡可能な電話番号、メールアドレスをお書き添え下さい。
- 12) 掲載原稿は原則として返却いたしません。

3. 文献の記載

- 1) 文献は引用した重要なもののみとし(原則として20以内)、文中に引用順の肩付き番号を付け、本文の末尾に文献として番号順にまとめて下さい。
- 2) 著者が4名以上の時は3名まで記載し、その他は、和文の場合「他」、英文の場合「et al」と略記して下さい。
- 3) 文献の書き方は次のように統一して下さい。なお誌名は公の略称を、外国誌名を略記する場合はIndex Medicus 所載のものに従って下さい。

〈雑誌の場合〉

著者名；題名。誌名 発行年；巻数(号数)；始頁 - 終頁。

例 1) 森田達也, 角田純一, 井上 聡, 他：緩和ケアにおける家族・医療従事者間葛藤に関する予備的調査. 死の臨床 1999；22(1)：81-87.

例 2) Peruselli C, Giulio PD, Toscani F, et al：Home palliative care for terminal cancer patients：a survey on the final week of life. Palliat Med 1999；13(3)：233-241.

〈単独ないし複数の著者による単行本の場合〉

著者名；書名。発行地(外国の場合のみ記入)；発行所；発行年；始頁 - 終頁。

例 3) 恒藤 暁：最新緩和医療学. 最新医学社；1999：257-270.

〈分担執筆で著者と編者が異なる単行本の中の1章の場合〉

著者名。題名。編集者名。書名。発行地(外国の場合のみ記入)；発行所；発行年；始頁 - 終頁。

例 4) 窪寺俊之, スピリチュアルケアとQOL. 柏木哲夫, 石谷邦彦 編. 緩和医療学. 三輪書店；1997：230-237.

例 5) Twycross R, Lichter I. The terminal phase. In: Doyle D, Hanks GWC, MacDonald N (eds). Oxford Textbook of Palliative Medicine. 2nd ed. Oxford: Oxford Medical Publications；1998：977-992.

4. 著作権と複写権

- 1) 他の文献より文章・図・表などを引用される場合は、あらかじめ著作権者の了解を得て下さい。その際、原著者との交渉は執筆者にてお願いします。それには出所(著者名、書名・雑誌名、頁、発行年)を明示して下さい。
- 2) 本誌に掲載されることが決定した論文等の著作権ならびに複写権(コピーライト)は当研究会に帰属するものとします。
- 3) 当研究会は、当該論文等の全部または一部を本誌の他、当研究会のホームページ、当研究会が認めたネットワーク媒体、その他の媒体において、任意の言語で掲載、出版(電子出版を含む)できるものとします。この場合、必要により、当該論文の抄録等を作成して付すことがあります。

5. 別刷

掲載された論文の筆頭著者には、別刷50部を無料進呈いたします。50部を越えた分については有料となります。必要部数を校正時にお知らせ下さい。

6. 原稿の送り先

原稿は記録が残る形で下記宛に書留便などでお送り下さい。

〒113-0031 東京都文京区根津1-4-4 河内ビル4F 株式会社 青海社内 「死の臨床」編集室 電話 03-5832-6171 FAX 03-5832-6172